

平成30年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立園田東小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○ 全国調査の結果から見られる本校の課題</p> <p>(1) 各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 知識及び活用のどちらについても、平均正答率が県や全国の結果を少し下回っている。必要な内容を整理して書く力。理由を明確にして、自分の考えをまとめる力に課題が見られる。 ・算数 知識及び活用のどちらについても、平均正答率が県や全国の結果を少し下回っている。自分の考えや判断を、言葉や式で表現する力に課題が見られる。 <p>(2) 質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題はしているものの、計画を立てて勉強をしている割合が低い。 ・「国語の内容がよくわかる」と回答した割合が10%で、教師の指導力向上が課題である。 <p>○ 学校独自の生活実態調査から見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や家庭学習、基礎学力の定着に課題が見られる。 	<p>○ 大学教授を招聘して、単元研究や指導方法の充実を図り、教員の指導力向上及び授業改善に取り組む【(1)アクティブラーニング講師招聘を活用】</p> <p>○ 先進校における取組内容の検証による教員の授業力向上に取り組む【(2)旅費を活用】</p> <p>○ 算数の授業において同一複数指導を行い、主体的・協同的な学習の推進。授業に活用できる補助教材づくり【(3)授業補助支援を活用】</p>	<p>○ 1年生から6年生を対象に、週2日(火・金)の放課後、算数や国語の基礎的な課題に取り組ませ、基礎学力の定着、学習習慣の確立を図るための学習支援を実施【(4)放課後学習支援を活用】</p> <p>○ 「家庭学習の手引き」の作成(授業と家庭学習の接続)【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○ 漢字・計算等のチャレンジタイムの継続</p>	<p>○ 特色ある教育活動を推進する。小学校における外国語活動の充実と教員の指導力向上に向け、研修用映像教材の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英検への挑戦 ○ ICT機器を活用した授業 ○ 読書週間や読書タイム、休み時間にボランティアによる読み聞かせ【(6)地域人材活用支援を活用】 	<p>本年度の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平均正答率(全国平均以上) (2) 質問紙調査(そう思う+どちらかと言えば、そう思う) <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容がよくわかる[国・算]85%以上 ・予習、復習をしている(60%以上) ○ 学校独自の生活実態調査 <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童の70%(98人)を家庭での学習時間、30分以上に引き上げる ○ 放課後学習参加率85%以上 ○ 英語リスニング力(4・5年) <ul style="list-style-type: none"> ・児童英検ブロンズ程度合格圏通過率85%以上 英語リスニング力(6年) ・児童英検シルバー程度合格圏通過率85%以上

校種間連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学前テストの検証を踏まえた小中における授業研修を行う。 ○ 夏季合同研修会の実施 ・各教科分科会で小・中学校教員による研修を行う。 ○ 外国語活動研究授業公開 ・市内の小・中学校に呼びかける。 ○ トライやるウィーク期間中に一日、中学校体験を実施する。 ○ 中学校の出前授業

活用する支援内容	
支援内容	具体的内容
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	○ 協働的な学びの創造(関西大学 今井 裕之教授 4回)
(2)先進校視察支援	○ 愛知県岡崎市立本宿小学校視察 英語教育:決められたセリフのやりとりではなく、感じた気持ちを返せる会話授業
(3)授業補助支援	○ 1~4年で同室複数指導を実施し、支援が必要な児童に個別指導を行う。特に、1年生においては学習規律や学習習慣の確立を図る。
(4)放課後等学習支援	○ がんばり学習(放課後学習) 1~6年 2h×週2×25週
(5)学力定着支援	○ 夏休みがんばり学習(夏季休業期間) 1~6年 2h×7回
(6)地域人材活用支援	○ 家庭学習の手引き作成
	○ 毎日の宿題プリント作成
(7)その他	○ 地域ボランティア10人 ボランティアによる読み聞かせを行い、読書活動に意欲・関心を持たせる。

家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上アクションプランを明示する。 ○ 読書力の向上を図る。「家読」 ○ 家庭学習の手引きの活用による学習習慣の定着。 ○ 学力調査結果を公表し、家庭との連携を図る。 ○ 地域の教育支援人材の放課後学習への活用を図る。 ○ HPの積極的更新 ○ PTA連携事業の推進 地域・保護者向け講演会